

令和6年産以降の飼料用米への支援について

- ・ 飼料用米（一般品種）の支援単価（戦略作物助成）が、段階的に引き下げられます。
- ・ 多収品種は、従来どおりです。

区 分	令和6年産	令和7年産	令和8年産
一般品種 (多収品種以外)	数量に応じて 5.5～9.5万円/10a (標準単価7.5万円)	数量に応じて 5.5～8.5万円/10a (標準単価7.0万円)	数量に応じて 5.5～7.5万円/10a (標準単価6.5万円)
多収品種 (特認品種含む)	従来どおりの単価 数量に応じて5.5万円～10.5万円/10a (標準単価8.0万円)		



地域の状況に応じて、**多収品種への転換**を検討してください。

多収品種とは、下記の品種です。

いわいだわら、えみゆたか、オオナリ、きたげんき、北瑞穂、クサホナミ、たちじょうぶ、ふくのこ、ふくひびき、べこあおば、べこごのみ、北陸193号、ホシアオバ、ミズホチカラ、みなちから、モグモグあおば、もちだわら、モミロマン、夢あおば、笑みたわわ、亜細亜のかおり（国の「需要に応じた米の生産・販売の推進に関する要領」別表に定める品種）

中生新千本、とよめき、やまだわら（岡山県の特認品種。飼料用米の多収品種としての栽培が可能）

※下線は、岡山県内で栽培されている品種（R4年産）